

新南陽の景況感

調査概要

調査対象期間 2023年1月～3月（現状）における景況感、2023年4月～6月（今後）における景況見通し

調査対象 新南陽地域の企業63社

調査方法 商工会議所経営指導員等職員の巡回相談時に調査票回収

調査項目 「業況」、「売上高」、「採算」、「仕入単価」、「従業員」、「設備」、「資金繰り」

産業全体

業況DIは依然としてマイナス、一部の業種で売上DIは回復しているが、原材料・エネルギー価格の高騰等によるコスト上昇等、採算は改善せず、資金繰りの厳しい状況は続いている。先行き見通しの業況DIは若干改善しており、コロナ禍からの活動回復に期待する。

新南陽地域の2023年1月～3月期の業況DIの全産業合計値は▲60.0%となり、前期調査（7月～9月期）よりもマイナス幅が16.4ポイント拡大（悪化）した。全国の「第171回中小企業景況調査（中小企業基盤整備機構）」全

業種の業況DIのマイナス幅は縮小（改善）している。新南陽地域の今後3カ月の先行き見通しでは、全産業合計値のマイナス幅は縮小（改善）する見通しとなっており、改善が期待されている。全国の今後3カ月の先行き見通しでは、業況DIのマイナス幅は縮小（改善）している。

き見通し「第171回中小企業景況調査」の全産業合計値も、マイナス幅は縮小（改善）する見通しとなっている。全国的にはマスク着用ルール緩和による消費者意識の緩和で飲食・宿泊業や、インバウンド需要増による小売業の改善等、期待感はある一方、原材料・エネルギー価格の高騰、賃上げ等によるコスト増が懸念される。海外経済の鈍化や、人手不足による受注機会損失等、先行きは、厳しい見方となっている。（商工会議所LOBO調査3月）

【卸・小売業】 前回の調査に比べて悪化している項目はないが、業況DI、採算DI、資金繰りDIは依然として▲100%（全事業者が悪い）と回答。売上高DI、仕入単価DIは前回と比べて改善している。今後3カ月の先行き見通しでは、業況DI、売上高DI、仕入単価DIのマイナス幅は縮小（改善）する見込み。

【卸・小売業】 コロナ前のイベント等の開催が復活するため、人々の活気が上昇することに期待していると報告有。

【製造業】 採算DI、仕入単価DIが前回の調査に比べて悪化している。業況DI、売上高DI、従業員DI、設備DIのマイナス幅は縮小（改善）している。

【建設業】 業況DI、売上高DI、採算DI、仕入単価DI、資金繰りDIは▲100%（全事業者が悪い）と回答。今後3カ月の先行き見通しは、業況DI、売上高DI、採算DI、資金繰りDIのマイナス幅が縮小（改善）する見込み。

【建設業】 業況DI、売上高DI、採算DI、仕入単価DIは前回調査に引き続き▲100%（全事業者が悪い）と回答。また、設備DI、資金繰りDIは悪化している。

【建設業】 今後3カ月の先行き見通しは売上高DI、資金繰りDIのマイナス幅が拡大（悪化）する見通し。原油価格高騰による収益悪化、単価交渉の必要ありとの報告有。

【運輸業】 調達費の上昇や受注は減少しているとの報告有。

DI（景気判断指数）値とは？

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナス値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率をしめすものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

DI = (増加・好転などの回答の割合) - (減少・悪化などの回答割合)

業況・採算：(好転) - (悪化)

売上：(増加) - (減少)

	全体		卸・小売業		製造業		サービス業		飲食・宿泊業		建設業		運輸業	
	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し
業況	-60.0	-36.0	-100.0	-33.3	-20.0	-100.0	-50.0	0.0	-20.0	0.0	-100.0	-14.3	-100.0	-100.0
売上高	-58.8	-40.7	-66.7	-60.0	-33.3	-100.0	-100.0	0.0	0.0	0.0	-100.0	-25.0	-66.7	-100.0
採算	-93.3	-76.0	-100.0	-100.0	-50.0	-100.0	-100.0	-33.3	-100.0	-60.0	-100.0	-66.7	-100.0	-100.0
仕入単価	-91.1	-95.2	-80.0	-71.4	-75.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0
従業員	90.5	90.9	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0	100.0	33.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
設備	69.2	50.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	33.3	33.3
資金繰り	-87.5	-75.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	100.0	-50.0	-60.0

※前年比…2023年1月～3月と前年同月の比 見通し…今後3ヶ月（2023年4月～6月）の見通し

会員の声

【卸・小売業】

- ◆昨年来の原油価格の上昇は一回落すも高止まり傾向にあり、燃料油の販売数量もコロナが落ち着くも減少傾向は続く。ガソリン価格等は政府補助金もあり市場は安定してきているが世界の景気は不安定な要素が多く先行き不安が広がる。
- ◆コロナ禍以前のイベント・お祭りの開催も見込めるようになり、徐々に人々の動きが活発になればと期待しています。
- ◆今年度は、イベントが多くなると思います。一人の出が増え、活気づいてプラス動向になれば。
- ◆先の見えない度重なる値上げの波。消費者の購買についてはかなり慎重です。

【サービス業】

- ◆コロナをきっかけに悪化している。なかなか先行きが困難。
- ◆個人消費（イベント）ができません。仕入価格が上がっている。
- ◆インボイス困ります。

【飲食・宿泊業】

- ◆コロナもかなり少なくなってきた、コロナ前に戻ったか？なかなかそれまではほとんどの飲食店、飲み屋さんが借入れをしています。そしてその返済が始まっていますが、みなさん返すお金が残っていません。借り換えをすれば、借金が増えるばかり。どうすればいいですか？
- ◆外食の需要があまり少ない。宴会の要望もまだ少ない。
- ◆消費税上がるのか？

【建設業】

- ◆地域経済が直面している問題点として、公共事業に地域の企業が参入できていないという事です。地元企業に利益が生まれるはずがありません。県外企業に利益を与えて県や市は満足ですか？
- ◆仕入価格の上昇が不安である。
- ◆個人消費。段々と仕事が少なくなってくる。
- ◆新卒入社なし。

【運輸業】

- ◆仕入価格の上昇に伴って、お客への単価交渉を行う必要がある。
- ◆物価高騰の為、収益悪化。